

昨日は、足場の悪い中、所長様をはじめ、西部教育事務所、南砺市教育委員会及び教育センターの先生方、学校評議員や地域づくり協議会長様などに御来校賜り、授業を中心とした本校の教育活動のようすをご覧いただきますとともに、懇切丁寧なご指導・ご助言を賜り、厚く御礼申し上げます。また、主任指導主事様から指導講話を頂戴し、今後の学校運営や教育活動へのご示唆を数多くいただきました。早速整理し、実践に繋げて行きたいと思えます。

さて、本校は今年度の研修主題を「自己教育力の育成」と定め、特に学習意欲の向上を図る面から迫っています。中でも、不易と流行として「道德教育の高揚」と「ICTの活用」を二本柱に据えることとしました。

まず「道德教育の高揚」についてです。ご存じの通り、教育の目的は人格の完成です。この人格を高めるために、私自身が「徳を積み、利他の心を磨く」を経営哲学にしているところから、学校教育目標の根幹に道德教育を据えています。教科の専門性を育むことはもちろんですが、コロナ禍となつて、己の心の中に正しい判断基準軸を創ることが、よりよく生きるためには欠かせないと考えます。

次に「ICTの活用」についてです。本校は、タブレット端末の利活用の工夫に、時間の許す限り創意工夫に努め、知恵を働かせています。特に、学校外部とのオンラインでの接続や交流を大切にしています。今後、新変異株や第8波などの感染症拡大のみならず、令和2年度の学校一斉休校時のようなプリント学習しか手も足も出ないようなことのないよう、学びを止めないの言葉に真摯に向き合い、子どもたちの学習をしっかりと保障するとともに、ICT教育推進が、都会などの中央に対しても決してひけを取らず、地道に迫っていける学校でありたいと思っています。

最後に、以上の2点を中心に、令和のとやま型教育推進事業校としても、研修を進めている本校ですが、沿革を紐解きましたら、昭和42年には文部省道德教育研究校、昭和54年から55年には文部省道德教育推進研究校としての歴史を目にし、道德を通しながら豊かな情操を育む校風づくりに尽力されていた先輩方の姿を想像しました。こうした素地に感謝しつつ、新学習指導要領の3観点を意識した授業改善に努めながら確かな学力の定着を図るとともに、教職員が一枚岩となって教育活動に誠実に取り組み、全国でも指折りの道德性が高い学校を目指してまいります。

校長室内に掲げられている額に「学而不厭」という言葉があります。これは、学びていとわずと訓読みし、学んであきることがないという意味で、孔子の論語に出てくる言葉です。とても崇高な、次元の高い内容ですが、教育公務員としても、日々、研究・修養・研鑽に努めて行きたいと思えます。

私は、自分の未熟さ故、教職員の方々にはお願いやら指示やらで迷惑をかけることが多く、助けられてばかりです。本当に活かされている毎日です。しかし、縁があって出会えた素晴らしい教職員の方々・仲間に感謝しつつ、井波地域の皆様にとって誇れる学校づくりにこれからも精進したいと思います。

ご多用の中、ご来校下さり、本当にありがとうございました。何かと行き届かない点もあったかと思いますが、ご容赦願いたいと存じます。今後とも、本校の教育活動の推進にご指導とご支援をいただきますようお願い申し上げますとともに、西部教育事務所、南砺市教育委員会及び教育センターの先生方、学校評議員や地域づくり協議会長様の、今後ますますのご活躍を祈念しまして、御礼の挨拶とさせていただきます。

昨日は、誠にありがとうございました。